

■谷豊(ハリマオ)

たにゆたか

大逆事件判決1911＝

明治天皇没・1912＝ 1歳：

大正政変・・・1913＝ 2歳：

マレーで盗賊“ハリマオ(虎)”と怖れられ、日本軍特務機関の一員となった直後に病没、英雄に。

福岡県で、農家の出ながら単身渡米して理髪技術を習得した谷浦吉の長男に生まれる。

父が南洋の好況の噂を耳にして、家族とともにシンガポールに渡る。

フィリピンに渡る船中で妹ミチエが誕生したため、父が進路を変えてマレーのトレンガヌに落着く。

父がまた熱心な日蓮宗信者だったことから、朝夕家族揃っての題目をかかさず、

大暴落・・・1920＝ 9歳：

原敬首相暗殺1921＝10歳：

水平社結成・1922＝11歳：日本の教育を受けるべしと、妹とともに福岡の実家に帰される。

以後、父母無しで学校に通うが、

円本時代始・1926＝15歳：この年、マレーで弟が誕生。尋常高等小学校を卒業すると、

金融恐慌・・・1927＝16歳：マレーに戻り、父の理髪店の手伝いを始める。

父と愛人との間のにも二人の妹ユキノと静子が誕生していて、大家族となっていた。

世界恐慌・・・1929＝18歳：

この間、マレー人女性と結婚し、極秘にイスラムに入信、父に知られ騒動。

満州事変・・・1931＝20歳：

父の命で徴兵検査のため帰国し、丙種合格。実家近くのアサヒ足袋に働きに出る。親分気取りで生活する間、マレーで父が急死、

国際連盟脱退1933＝23歳：

さらに、(満州事変で反日となった中国人に)末妹の静子が殺害される事件が起き、

帝人疑獄事件1934＝24歳：

*母が弟とともに福岡に帰郷して知らされるや、復讐をと制止を振り切ってマレーに渡り、2度目の結婚をして理髪業を始めるも続かず、盗賊へと変身した。その暴れぶりはすさまじく、やがて“ハリマオ(虎)”と渾名され、タイ南部・マレー北部一帯で恐れられる。

日中戦争始・1937＝26歳：

健保+総動員 1938＝27歳：

大政翼賛会・1940＝29歳：

*度重なる嫌疑で遂にトレンガヌを追放され、タイのバンブーに流れ着き、獄舎に入れられた豊に一目惚れして、看守に金を掴ませて救出してくれた現地女性と結婚したが、噂を聞きつけたバンコクの日本大使館付き武官田村浩大佐が開戦に備えて徴用しよう差し向けた部下に即座に応じ、

日米開戦・・・1941＝30歳：

*発足した藤原(F)機関の一員となった。食料の備蓄や軍資金の運搬などに努めたが、マラリアに罹り、

・・・1942＝31歳：

_ジョーホールの病院で、日本軍が快進撃するのを眺めながら、シンガポール陥落後まもなく、没した。全国の新聞がその死を一斉に報じて活躍ぶりを称え、忠臣愛国の英雄へと祭り上げられ、戦後にTVドラマ「怪傑ハリマオ」が大ヒットする。